

第35回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会議事要旨

1 日 時 平成28年12月14日(水) 18時30分～20時10分

2 会 場 千城台公民館

3 出席者

(1) 委 員 17人 *代理出席 1人(阪下委員⇒代理:栗山氏)

(2) 事務局 6人 *教育委員会 大橋教育総務部参事
企画課 荒井課長補佐、伊原統括管理主事、川口主査、
川島主査補、千脇主任主事、塚田主任主事

(3) 傍聴者 22人

4 報告・議題

(1) 【報告1】協議の進め方と主な協議概要

(2) 【報告2】前回協議会以降の動き

(3) 【議題1】千城台地区の小学校統合

(4) 【議題2】次回開催日時・場所

5 会議資料

(1) 資料1:2校連絡会(北小・西小)の概要

(2) 資料2:2校連絡会(南小・旭小)の概要

(3) 資料3:千城台地区適正配置の状況について(平成28年10月7日付文書)

6 議事の概要

(1) 【報告1】協議の進め方と主な協議概要

7月以降の動きとして、児童同士の交流、統合の組合せ校同士での協議の場「2校連絡会」の状況を含めて、各校PTAから報告をしていただき、それらの報告について協議を行っていく。

(2) 【報告2】前回協議会以降の動きについて

次のことが報告された。

- ・前回の協議会(全体会)以降、8月から、統合の対象となっている北小・西小・南小・旭小の各PTAと、正副会長・事務局で協議の場を設けた。
- ・9月7日開催の協議会(分科会)では、児童同士の交流を学校に依頼すること、統合の組合せ校同士での協議の場として「2校連絡会」を開催することで確認がなされた。
- ・また、本日までの間、「北小・西小の2校連絡会」については、9月28日、11月19日に開催し、「南小・旭小の2校連絡会」については、9月28日、11月28日に開催している。
- ・併せて、10月には事務局より、千城台地区の5小学校および2中学校に、児童交流の推進を正式に依頼した。

(3) 【議題1】千城台地区の小学校統合

自治会を中心に、統合協議が長期に及んでいることから早期の統合決定を求める意見が出るとと

もに、PTA会長からは、9月から始まった2校連絡会での話し合いに委ねていただきたいとの意見があった。

また、各学校PTAが学校の魅力等をPRするプレゼンテーションを実施して、それに対する意見を基に統合場所を決定するなど、新たな決定方法についても協議が行われた。

これらの協議の結果を受けて、統合が決定できずに、地元代表協議会での協議が新年度に及んだ場合、委員の交代により協議の後戻りが懸念されることから、3月までに方向性が示せるように、2校連絡会において全力で協議していくことになった。

(4)【議題2】次回開催日時・場所について

次回は次のとおり開催することとした。

日時 平成29年3月1日(水) 18:30~20:30

会場 千城台公民館 ホール

7 発言要旨

(1) 会長挨拶(角田会長)

この協議会も35回目を迎えた。当初から議論を後戻りしないように進めてきた。昨年7月に統合の組み合わせが合意され、統合校同士の話し合いを進めてきたが、議論の進展がなかったことから、今年の3月に協議会会長案を出させていただいた。会長案の提示により両校の議論が活発になり、お互いの情報交換や学校見学等を行っていると感じており、少しずつ前に進んでいると感じている。

本日は、統合校同士の活動を報告していただき、それに基づく協議をお願いしたい。

(2) 報告

報告① 協議の進め方と主な協議概要

- 〈事務局〉
- ・本年度は、御存知のとおり、第33回の協議会(全体会)、第34回の協議会(分科会)で話し合いを進めてきた。
 - ・小学校の統合自体には賛成である、子どもたちにクラス替えができる環境を目指すというこれまでの合意の下、統合場所について協議を継続している。
 - ・本日は、7月以降の動きとして、児童同士の交流、統合の組合せ校同士での協議の場「2校連絡会」の状況を含めて、各団体から報告をしていただき、それらの報告について協議を行っていく。

報告② 前回協議会以降の動き

〈菅原議長〉 「前回協議会以降の動き」について、事務局から報告をお願いします。

- 〈事務局〉
- ①前回の協議会(全体会)以降、8月から、統合の対象となっている北小・西小・南小・旭小の各PTAと、正副会長・事務局で協議の場を設けた。
 - ②9月7日開催の協議会(分科会)では、児童同士の交流を学校に依頼すること、統合の組合せ校同士での協議の場として「2校連絡会」を開催することで確認がなされた。
 - ③この協議会(分科会)での協議状況を、本地元代表協議会の各委員には事務局より連絡させていただき、9月28日に開催を予定していた協議会(全体会)を本日まで延期させていただいた。

※資料3は、10月7日付文書「千城台地区学校適正配置の状況について(報告)」

は、その2校連絡会の活動経過状況を各委員へお知らせしたものである。

④また、本日までの間、「北小・西小の2校連絡会」については、9月28日、11月19日に開催し、「南小・旭小の2校連絡会」については、9月28日、11月28日に開催している。

⑤併せて、10月には事務局より、千城台地区の5小学校および2中学校すべてに、児童の交流を推進していただくための正式依頼も行った。

〈菅原議長〉 各PTAからの報告をお願いします。

〈村山委員〉 資料1のとおり、2回の2校連絡会を開催し、西小と北小の本部役員で協議を行った。また、本日午前中に西小正門前に西小と北小の本部役員の一部が集まり、西小と北小の校舎等を見学した。両校PTAの積み上げてきた交流の結果として、学校の見学を実施できたことは、特筆に値すると思う。

西小PTA本部と交流したり、協議をしたりすることは、「統合場所の決定」という答えを導き出すためのものというよりは、統合すれば一緒になるのだから、お互いを理解しておこうという取組みの一つであると考えている。

これらの取組みを進めていけば、必ず統合場所が決定できるかについては、確約しかねるところである。

〈秋田氏〉 本日、北小を訪問し、通常学級と特別支援学級の児童の交流授業を見学させていただき、たいへん勉強になった。統合場所はともかくとして、北小と西小はお互い一緒になるということでは、同じ方向を向いて進んでいることを確認している。

現在の取組みは、地元代表協議会やPTA会長から言われたものではなく、両校PTA本部役員の自主的な働きかけにより実現したものであり、本部役員同士が主体となって進めていけるようになったのは、昨年度から前進した点であると思う。

〈佐々木委員〉 特になし。

〈村上委員〉 資料2のとおり、2回の2校連絡会を開催し、日頃思っていることを気軽に言い合えて、お互いを理解するための一助となったと思う。主な内容としては、1回目は、子どもたちが交流するための行事を一緒に考え、芸術鑑賞会など南小にない行事、逆に、旭小にない行事が分かり、とても参考になった。2回目は、校舎の見学も兼ねて南小で開催した。学校にも参加していただき、子どもたちの交流について、より具体的な話し合いをした。校舎の見学については、広い校庭、日当たりの良さなどをご覧いただいた。

交流に関する具体的な取組みとして、12月13日に球技大会の練習を通して両校の5・6年生が交流を行っている。

また、12月5日には、旭小の校舎を見学させていただいた。参考になった点として、

①教室数が多く、いろいろなことに活用できること

②子どもルームが校舎の中にあること

を挙げることができる。

2回の2校連絡会と旭小の見学の実施後、南小常任委員会での保護者の意見をまとめた。その中で主なものは次のとおりである。

①統合場所を考えるときに、子どもたちのために何が重要かという視点を持つことが大切である。

②統合場所の協議の際は、お互いの学校の良い点を示し合ったり、相手校のデメリットの解消方法を一緒に考えたりしながら、協議を進めていくのがよい。

③お互いの学校を比較したときに、基本的には大差はないが、子どもの教育環境を考え

たときに校庭の広さや日当たりの良さで少し南小の方がメリットがある。

- ④新しい学校をつくるという視点に立って統合場所を考えたときに、南小になる場合、旭小の子どもたちにとってのデメリットをいかに解消していくのかを、旭小の保護者と一緒に考えてしていければよい。

〈鈴木努委員〉2校連絡会や学校の見学の実施については、村上委員からの説明にあったとおりである。また、12月13日には、球技大会の練習試合を通して子どもたちの交流を行っている。2校連絡会では肯定的な話し合いがなされているが、旭小PTA内で統合場所の決定については、少し時間がかかるとの意見が多い状況である。PTA役員同士が話し合って少しずつ議論が前に進み、最終的に決定できればよいと考えている。

〈鈴木利委員〉特になし。

(3) 協 議

議題① 千城台地区の小学校統合

〈菅原議長〉事務局から説明をお願いする。

〈事務局〉報告(2)の2校連絡会等の状況からも、協議会会長案により、議論が活発化していると認識している。第33回協議会(全体会)、第34回協議会(分科会)に引き続き、それについて、ご意見をいただき、協議を進めたい。

また、今後も、2校連絡会等での協議を進め、統合場所について円滑に結論を出すために、どのような方法、改善が考えられるかご意見をいただきたいと思います。

〈菅原議長〉各委員から意見等をお願いしたい。

〈諸橋委員〉前回協議会(全体会)以降、特に自治会内での協議は進んでいない。PTAの皆さんでよく話し合って結論を導き出すことは必要なことだが、どの段階で結論を出すようにするのかの判断が難しいように思う。

〈富澤委員〉PTA同士の歩み寄りを感じられたが、それがどの程度統合場所の議論に結びつくのか疑問に感じている。自治会内では、跡施設活用が話題となっている。よって、跡施設活用も含めた議論をしなければ、統合場所の議論の進展は難しいのではないかと考えている。

〈中島委員〉自治会内で協議の進展はない。ただし、7年間も統合の話し合いをしていることは話題になっている。早い時期に、統合場所を決めていただきたい。

子どもたちの交流が行われるのは良いことだが、資料1・2の「(4) その他、質疑等」の四角枠の中の文言については、ほとんどが教育委員会との話し合いで解決することが挙げられている。統合で新しい学校が設置されるからこそ解決できる課題について議論をしていただいた方が良いように思う。

〈藤岡委員〉地元の南小は、半分の校舎が使われておらず、一見廃校のようになっている。子どもたちのためにも、早期に統合場所の結論を出していただきたい。

〈手島委員〉PTA同士の話し合いが長引くようなら、教育委員会に統合場所の提示をお願いしたいとの意見もある。

〈時松委員〉小学校同士で子どもたちの交流をしているのは素晴らしいことであり、進めるべきことであると思う。しかし、どこかで期限を区切って統合場所を決めてしまわないと、平行線のままの状態が続かぬと考えている。

〈栗山氏〉自分の学校を残したいとの思いがあるため、当事者同士での話し合いで統合場所を決定するのは難しい。そのため、地元代表協議会において、統合対象校4校のPTAによる

自校をアピールするプレゼンテーションを行い、統合場所を決めていってはいかががかと考えている。現在のルールでは単純に投票により決定することはできないが、各委員の意見を基に議長に調整していただければ、今より協議が進むのではないかと思う。

〈奥田委員〉 各学校で子どもたちの交流が行われているのは、素晴らしいことであると思うが、交流だけでは統合場所は決まらないように思う。先ほど南小のPTA会長から、統合場所におけるデメリットの解消に向けての話し合いをしていきたいとの提案があった。PTAは、各学校のメリットとデメリットを示し、デメリットを解消するための前向きな協議を進めていけば良いと思う。メリットを主張してばかりでは、各学校の自慢話に終始してしまい、協議が進まないと思う。

〈鶴岡委員〉 学校同士の子どもたちの交流は必要なことかもしれないが、それだけでは統合場所は決まらないように思う。統合の目的は子どもたちの教育環境を整えることにある。そのためには地域にできることは協力していこうと考えているので、子どもたちのためにも、そろそろ統合場所を決めていただきたいと思う。

〈石原委員〉 2校連絡会での取組みに感謝申し上げる。2校連絡会で協議を続けていただいて結論が出るのが最善であるが、それが難しいようであれば、各PTA会長や教育委員会に統合に向けた方向性の決定を委ねていき、その方向性を地元代表協議会で追認していけばよいと考えている。

〈大澤委員〉 7年間も話し合っているので、そろそろ統合場所を決めていきたい。このまま子どもたちの交流を進めていっても、統合までに時間はかかるように思う。どこの学校が統合場所になろうが大差はないと思うので、地域と自治会の関わり、地域配置バランスを考えながら、統合場所を決めていただきたいと思う。これ以上期間がかかるようであれば、教育委員会に結論を出していただきたいと思う。早く統合場所を決めて、統合に対する教育委員会への要望の協議に多くの時間を費やした方が良いと思う。

〈鈴木利委員〉 2校連絡会を開催し、当事者同士で話し合っているのは良いことであると思う。2校連絡会の話し合いで統合場所が決まれば一番良いが、それが簡単ではないことも十分理解しているので、他の解決方法も検討しながら、統合場所の決定に向けて進んでいけば良いと考えている。

〈鈴木努委員〉 皆さんの意見を聞いていると、協議会会長案で良いと考えている方が多いように感じた。

〈村上委員〉 協議が長期間に及んでいるという意見、そろそろ結論を出したいという意見があった。そのとおりであると感じているが、PTAとしては、保護者や子どもたちの交流が始まったところであり、お互いの話し合いの中で統合場所が決まれば良いと思う。確かに、当事者同士の話し合いで決定するのは難しいのではないかという話もPTA内では出てはいる。仮に統合の方向性を決めるために、今までにない方法で検討するのであれば、保護者の意見を聞いてみたいと思う。ただし、現在は2校連絡会での協議を行っているところであり、もう少しこの協議を進めていきたいとの思いはある。

〈佐々木委員〉 当事者同士の話し合いの中で、自分の学校が統合場所でなくなることを決めづらと思う。そろそろ議論をし尽くしたのではないかと思うので、各委員が統合場所と考えている学校を投票によって明らかにし、それを基準にして、委員全員の積極的な賛成は得られなくても、全員が承認する形で統合場所を決定していくというような方法も検討していく時期にきていると思う。

統合決定の時期については、来年度の市役所の予算の事務処理（10月）に間に合うように、7月までには方向性を決めていけたら良いと考えている。

- 〈木俣委員〉 統合の協議は7年目が終わろうとしている。協議期間が長期に及んでいることに関しては、当事者である我々PTAが一番焦っている点である。PTAは保護者の代表として、子どもたちにより良い教育環境を整えてあげたいとの気持ちが誰よりも強いと思う。現在は、2校連絡会で当事者同士の話し合いを進めているところであり、早く統合を決めたいという気持ちは皆さん以上に持っているので、2校PTAの話し合いを温かく見守っていただきたいと思う。
- 〈村山委員〉 木俣委員の話にもあったように、話し合いで解決できれば良いと思う。ただし、協議期間が長期に及んでいることから、早く決めたいという各委員の意見ももっともであると思う。
- 〈菅原議長〉 意見・質問のある方はお願いしたい。
- 〈石原委員〉 早く統合場所を決めてほしいとの意見はあったが、現在は、各校PTAが9月から始まった2校連絡会での話し合いを進めているので、その行方を見守りたいと思う。
- 〈栗山氏〉 先ほど、プレゼンテーションの実施を提案したが、次回の協議会での実施を求めるものではないことを補足させていただく。
- 2校連絡会での話し合いについては、期限を区切って行った方が良いと思う。そして期限までに2校連絡会で決定できなかった場合は、教育委員会に頼るのではなく、あくまでも地元代表協議会で決定していくようにした方が良いと思う。
- 〈村山委員〉 2校連絡会における話し合いで結論を出したときに、地元代表協議会の各委員はその結論に同意していただけるのか。
- 〈栗山氏〉 結論を示していただけない現状で、各委員が同意するか否かを答えるのはできないと思う。
- 〈村山委員〉 仮に2校連絡会での結論に対して各委員の同意を頂けないのであれば、最初から地元代表協議会（全体会）で協議した方が良いと思う。
- 〈栗山氏〉 地元代表協議会（全体会）では協議が進まなかったため、現在は2校連絡会での話し合いになっているのだから、その結論は尊重されると思う。
- 〈角田会長〉 現段階では、各委員が同意するとは明言できないが、尊重されるべきものと考えている。
- 〈佐々木委員〉 2校連絡会での結論でほぼ決定するであろうと言って差し支えないと思う。2校のPTA同士で話し合っ、両者が納得しているものであれば、各委員もその結論に納得してもらえと思う。
- 〈大澤委員〉 現在、2校連絡会での話し合いが行われているとの説明を受け、期限を区切る必要はあると思うが、2校連絡会の行方を見守っていききたいと思う。そして、期限までに結論が出ないようであれば、地元代表協議会で再度協議し、それでも結論が出ないようであれば、教育委員会に意見を聞きながら結論を導き出していきたいと思う。
- 〈角田会長〉 2校連絡会での取組み状況を各PTA会長から報告していただき、それに対する各委員からの意見が出たが、この2校連絡会は、まだ始まったばかりである。昨年度と比べると、2校連絡会という枠組みができて、お互いに話し合いができており、進展しているように思う。各委員が心配している2校連絡会での話し合いの期限については、まだ始まったばかりであり、現時点では期限を決めづらいと思う。まずは、このまま話し合いを進めていただき、3月の地元代表協議会（全体会）で2校連絡会の状況を再度報告していただくことにする。その時点で膠着状態になっているのであれば、プレゼンテーションの実施など、新たな展開を考えていこうと思う。
- 〈富澤委員〉 統合場所が自分たちの学校でない場合、不都合な理由を具体的に挙げていただければ、

自治会としてその解消に向けた協力ができるのではないかと感じた。

〈奥田委員〉 新年度になると委員が交代する。それによって同じ議論を繰り返すことになってしまう。よって、新しい委員にはしっかりと引き継ぎをしないと議論が先に進まないと思う。次年度まで結論を持ち越すのであれば、引き継ぎについても確実に行っていただきたい。

〈事務局〉 事務局から第3 4回協議会(分科会)や2校連絡会について補足説明をさせていただく。

2校連絡会について

統合場所については、2校連絡会の中でしっかり話し合っ決めていく。その後、地元代表協議会(全体会)では、2校連絡会の結果を最大限尊重して統合場所を決定していく。事務局としては、前回地元代表協議会(分科会)での協議の結果を踏まえ、そのように認識して2校連絡会の事務を行っている。

子どもたちの交流事業について

これまでの統合校に対するアンケート結果によると、統合後に複数学級になることは、学力向上や学校行事においても良い効果が出ている。今後も、子どもたちの交流はしっかり行っていきたい。4月からは、総合的な学習の時間など、カリキュラムの中でも一緒に活動をしていくことになっている。

統合協議の期限について

2校連絡会でもPTAの方から質問されている。新年度になると委員の交代があるため、3月までにある程度の結論が出るのが理想的である。その結論を引き継いでいただくのが良いと考えている。

その後、最短で統合新設校を開校させるのに、平成29年10月までに教育委員会に要望書を提出していただくというスケジュールが考えられる。

教育委員会としては、2校連絡会の話し合いで統合場所が決まるのが理想的である。統合場所の決定を教育委員会に委ねることについては、2校連絡会でも意見が出ている。その際、教育委員会としては、両校の保護者が統合場所の選定を委員会に一任していただけることが条件になると考えている。

〈角田会長〉 2校連絡会に関する報告に基づいて、各委員から意見が出された。本日の意見を踏まえて、もう少し2校連絡会を行っていきたくと考えている。2校連絡会で話し合いを継続していくことで、統合が決まった場合には、保護者や子どもたちが柔軟に統合に対応していけると思う。

〈菅原議長〉 会長の考えを受け、2校連絡会での話し合いを推進し、その結果を最大限尊重することとしてよろしいか。

〈委員一同〉 異議なし。

〈大澤委員〉 新年度になって委員が交代する前に決められるのか。

〈角田会長〉 今年度内には、もう一度、地元代表協議会全体会を開催したいと考えている。その場で、新たな展開を示すことができるかもしれない。

〈事務局〉 今後の2校連絡会は、2月に開催する予定であった。2月に開催するのは、子どもたちの交流がある程度進んだ段階で、お互いにその状況を報告しながら、改めて統合場所についても協議をしていこうと考えていたためである。

しかし、本日の協議で3月までにある程度の結論を決めるとの話も出てきていることから、3月までに全力で統合場所の決定に向けた2校連絡会の道筋を立てていきたいと考えている。4校のPTA会長には、この後、2校連絡会のスケジュール調整をさせていただきたい。

〈菅原議長〉 各委員は、次回の協議会までに、児童の交流等で支援できることはないか、各団体で取り組んでいることなどを確認しておいていただきたい。

議題② 次回開催日時・場所

〈菅原議長〉 事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 例年3月に開催していることから、次の日程を提案させていただく。

日時 3月1日、水曜日、午後6時30分から8時30分

会場 千城台公民館 大ホール

〈委員一同〉 異議なし。

(4) 連絡

- ・協議会の状況を各所属団体へ伝達し、意見集約をお願いしたい。
- ・議事要旨（案）を送付させていただき、確認終了後にホームページに掲載する。
- ・今後、欠席する場合の対応として、代理の方を立てるか、欠席の連絡を事務局にいただきたい。

(5) 会長挨拶（角田会長）

2校連絡会は、他の委員の意見を踏まえて、話し合いを進めていただきたい。